

小さな「できる」を積み重ねて、大きな未来を創ろう

4月8日の入学式で25名の新入生を迎え、全校生徒71名で令和8年度をスタートしました。教職員一同、生徒の健やかな成長のために誠心誠意、努めてまいります。また、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力を賜りながら、教育活動の充実に取り組んでまいります。八千浦中学校の教育活動へのご支援とご協力をお願い申し上げます。



八千浦中学校では、「和同を重んじ、向上をめざし、真理を追究する生徒」を学校目標に、自分の良さ、仲間の良さ、ふるさとの良さを知り、自信と誇りをもって夢に向かう生徒の育成を目指しています。新学期が始まり、この志が様々な場面で見受けられます。

登校時、車両に注意して、通行の妨げにならないよう安全に留意して登校することができます。些細なことですが、交通ルールを守るだけでなく、自分を守る行動ができており、感心しました。また、嬉しい気持ちになる挨拶もできています。自分から挨拶をする人、しっかり聞こえる声で挨拶をする人、恥ずかしながら会釈をする人、方法は色々ですが、誠意が感じられます。挨拶は互いを認め合う人間関係づくりの第一歩です。だから、相手に温かさを伝えられる挨拶は八千浦中の誇りだと思います。毎日、何気なく、当たり前に行っていることは、実は、素晴らしいことばかりです。だからこそ、何気なくするのではなく、意識して、さらに自分自身を高め、輝きを手に入れてほしいと思います。

自分たちで創る心地よい学校

生徒玄関を入ってすぐのホワイトボードです。みんなが平等に、楽しく昼休みが過ごせるよう集会委員長は、登校して、すぐに、昼休みの体育館利用について書き込んでいます。



その日の午後、提示された場所をみんなで守り、穏やかな昼休みを過ごしました。リーダーだけが学校を創るのではなく、仲間意識をもって、みんなで学校を創るとは、こういうことなんだと思いました。八千浦中学校の自慢です。